



庁舎上空から南方向

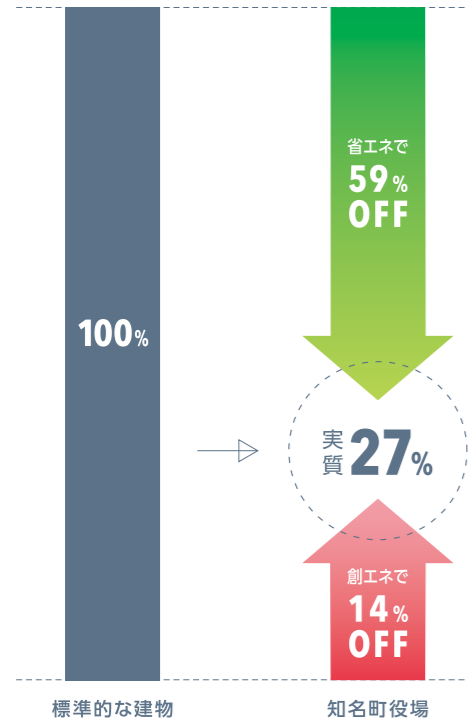
NET
ZERO
ENERGY
BUILDING



ZEB Ready

脱炭素社会に向けて

○ 一次エネルギー消費量の比較



知名町役場庁舎の建設にあたっては、当初、老朽化や執務室の狭あい、バリアフリー非対応で十分な住民サービスが提供できない状況であった旧庁舎を改善する目的で計画されましたが、これを機とし、脱炭素社会に向け、庁舎運用に係るエネルギー負荷の軽減を計画及び設計に織り込みました。エネルギーを省力化するため新庁舎では、壁や屋上に高断熱処理を施し、庁舎を囲む縦横の大きな庇により、直射日光を遮る設計としています。また、遮熱機能を持ったLow-E複層ガラスにより、屋内の温度上昇を抑え、空調機器への負荷を軽減し、冷房効率を高めています。

庁舎内には、通風・採光を確保するため、屋上まで吹き抜けるエコポイドを2か所設置し、設備面では、周囲の明るさに合わせて照度を自動調節するセンサー付き照明器具をはじめ、空調・換気設備などに省エネ性能の高い製品を採用しています。また、総務課に併設された中央監視盤は、各設備の稼働スケジュール管理、各室の温度、湿度及び二酸化炭素濃度の監視並びに太陽光発電設備の監視など、各設備を効率良く運用するための機能を備えています。

これらの断熱工法及び高効率設備等により、標準的な建物の一次エネルギー消費量を59%削減した知名町役場庁舎は「ZEB Ready^{※1}」として認証されました。(2024年5月現在)



BELS評価^{※2}

※1 ZEB Ready…ZEBを見据えた先進建築物として、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えた建築物。(再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建築物。)

※2 BELS評価…[BELS]とはBuilding-Housing Energy-efficiency Labeling Systemの略称。建築物省エネ法第7条に基づき建築物の省エネ性能を表示する第三者認証制度の1つで、一般社団法人住宅性能評価・表示協会が運営。同協会に登録された登録BELS機関が、対象の建築物の設計図書に基づき、省エネ性能を客観的に評価し、一次エネルギー消費量をもとに5段階の星マークで表示したもの。さらに省エネルギー性能に優れた建築物はZEBとして認証される。(環境省ホームページから引用)



庁舎内の明るさや通風を確保するエコポイド

1F

住民サービスの向上及び業務の効率化を図るため、ワンフロアでの目的完結を目指し、窓口業務や暮らしに直結する事業課など利用頻度の高い部署を1階に集約しました。また、出張相談所や区長会等の会議にも利用できる会議室や打合せ室を備えています。

01 町民課 (総合案内)
Resident Division (Help Desk)

02 保健福祉課
Public Health and Welfare Services Division

- ・保健センター Health Center
- ・配偶者暴力相談支援センター Spousal Violence Counseling and Support Center
- ・地域包括支援センター Community Care Center

03 子育て支援課
Child-raising Support Division

04 税務課
Tax Division

05 耕地課
Agricultural Land Division

06 農林課
Agriculture and Forestry Division

07 農業委員会
Agricultural Commission Office

08 上下水道課
Water and Sewer Division

09 建設課
Construction Division

10 会計課
Accounting Division

選挙管理委員会
Town Election Administration Commission Office

会議室
Conference Room

指定金融機関
Designated Financial Institution

打合せ室 (1)
Meeting Room (1)

打合せ室 (2)
Meeting Room (2)

相談室
Consultation Room

凡例



トイレ
Toilet



男女共用多機能トイレ
All Gender Accessible Toilet



授乳室
Nursing Room



エレベーター
Elevator



ATM
Cash Service

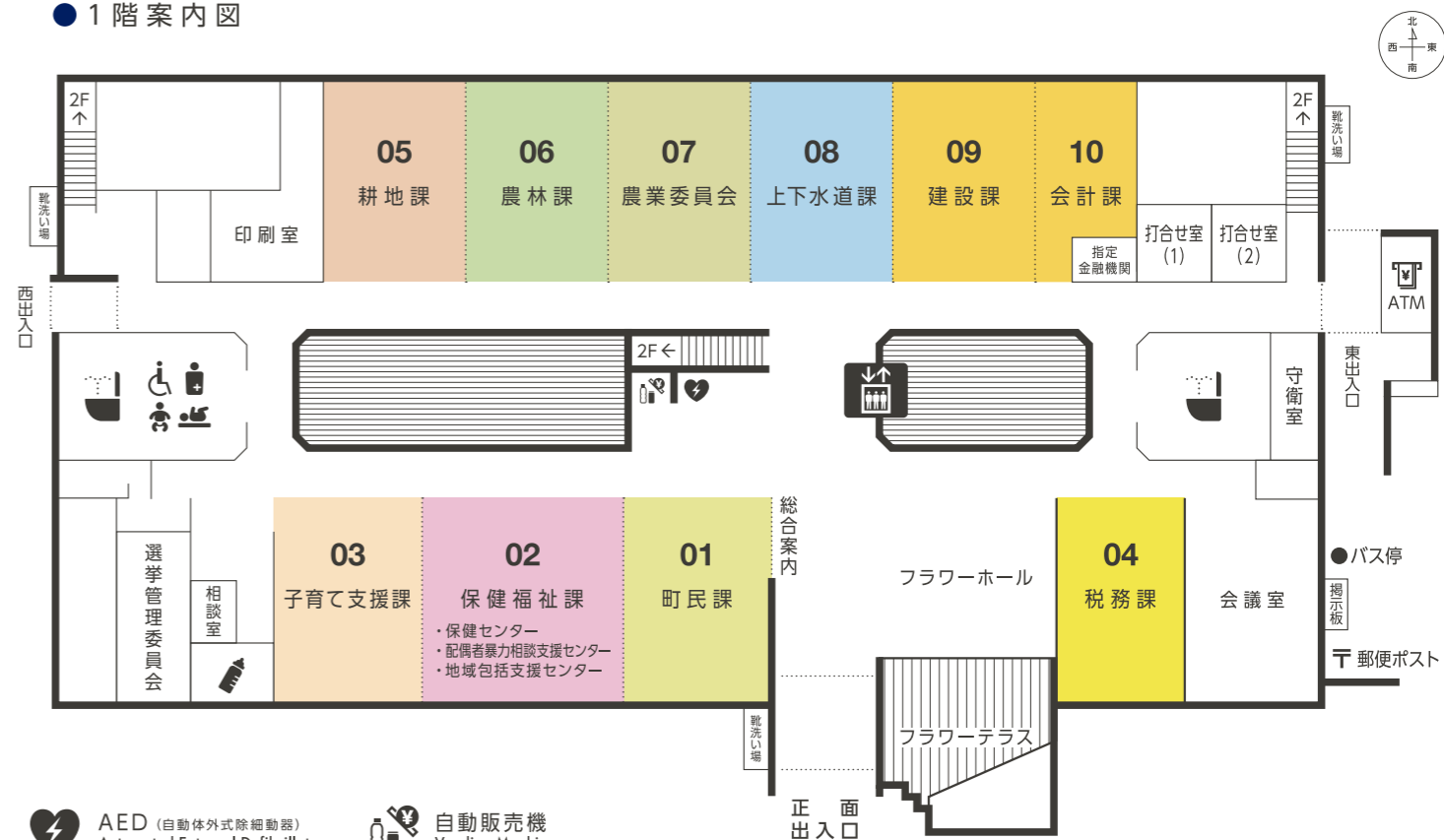


AED (自動体外式除細動器)
Automated External Defibrillator



自動販売機
Vending Machine

● 1階案内図



エントランスホール



2F

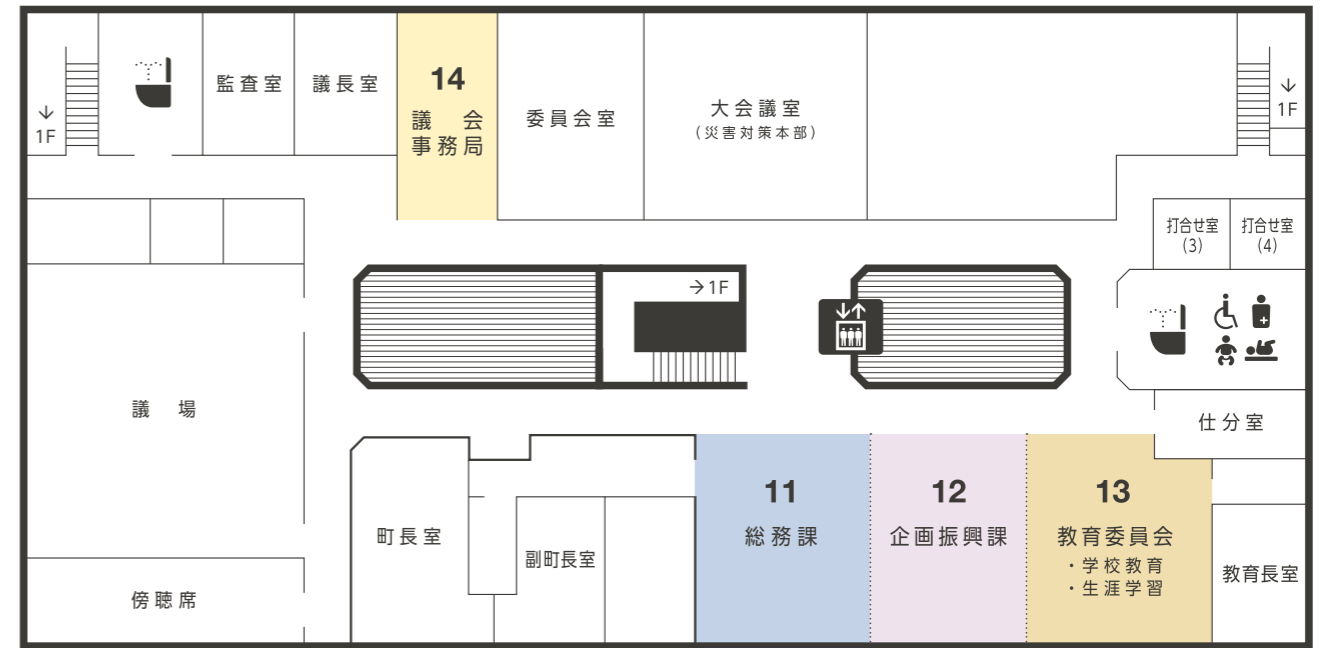
庁内で最も広い大会議室（災害対策本部）をはじめ、委員会室、監査室並びに打合せ室など各種会議や研修会場として利用可能なスペースを確保しています。また、段差のないフラットな議場は、議場内机・椅子等も可動式とし、議会以外での多目的利用を可能とします。

- 11** 総務課
General Affairs Division
- 12** 企画振興課
Planning Division
- 13** 教育委員会
Board of Education
・学校教育 School Education
・生涯学習 Lifelong Learning
- 14** 議会事務局
Town Assembly Secretariat

- 町長室
Mayor's Office
- 副町長室
Deputy Mayor's Office
- 教育長室
Superintendent's Office
- 議長室
Chairperson's Office
- 議場／傍聴席
Town Council Chamber / Visitor's Gallery
- 委員会室
Council Room

- 監査室
Auditing Office
- 打合せ室（3）
Meeting Room (3)
- 打合せ室（4）
Meeting Room (4)
- 仕分室
Mail Room
- 大会議室（災害対策本部）
Main Conference Room
(Disaster management headquarters)

● 2階案内図



凡例



トイレ
Toilet



男女共用多機能トイレ
All Gender Accessible Toilet



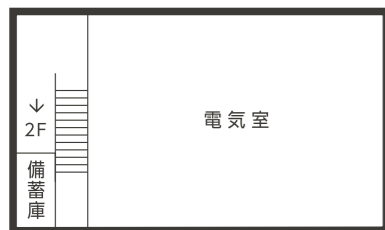
エレベーター
Elevator



3F/RF

3階部分には、屋上に設置された太陽光パネルと接続する蓄電システムや屋内キュービクルを設置した電気室と、災害時などの支援物資を備えた備蓄庫を設置しています。
※ 3F及び屋上は関係者以外立入禁止となっております。

● 3階案内図



備蓄庫
DISASTER SUPPLY WAREHOUSE



電気室
ELECTRICAL ROOM



太陽光パネルとおきえらぶ文化ホール あしびの郷・ちな



屋上の室外機と塩害対策壁



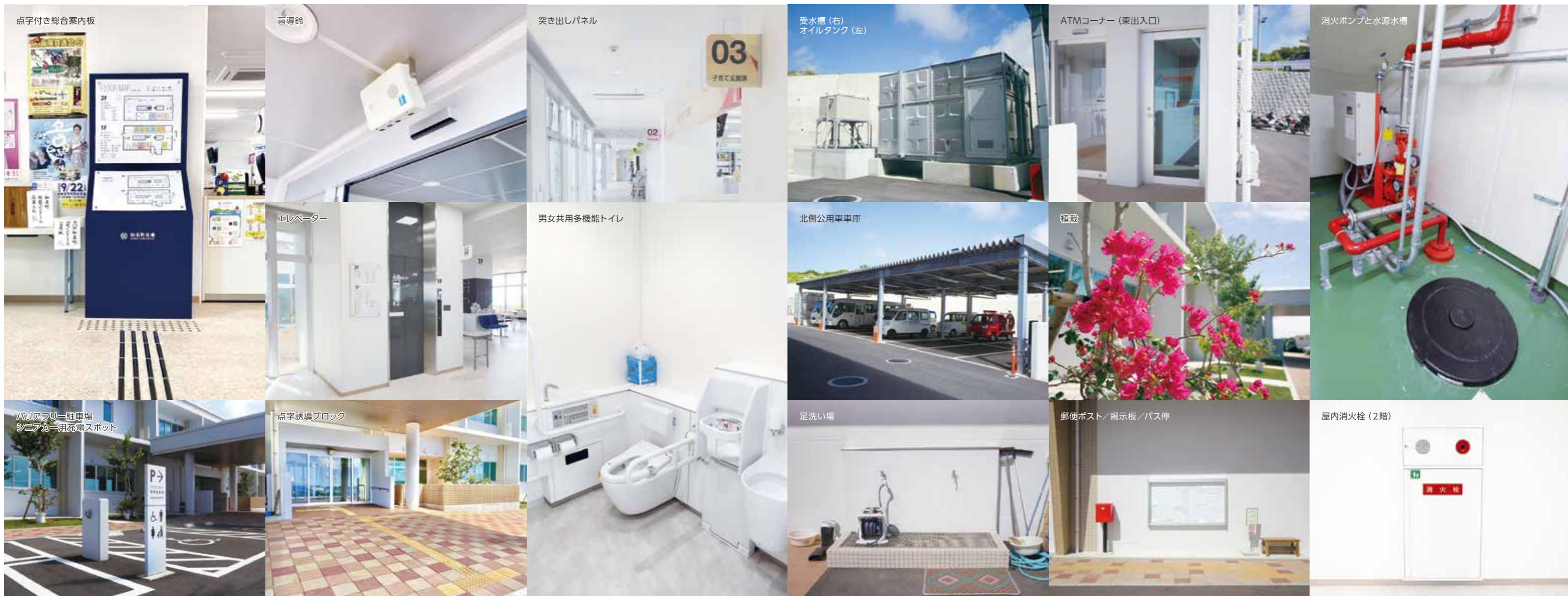
太陽熱温水器



外構・その他設備

ユニバーサルデザインに配慮し、できる限り多くの方が不自由なく庁舎を利用を設置しています。庁舎内は、長い直線の通路でも目的地がわかるように、

できるよう庁舎内外の段差等を排除し、庁舎外から庁舎内の点字付き案内板まで誘導する点字誘導ブロックや正面出入口に盲導鈴各部署の柱にナンバリングした突き出しパネルを設置しています。





庁舎建設事業の経緯

平成29年6月	役場新庁舎建設基本構想検討委員会 設置(計5回開催)
平成30年8月	役場新庁舎建設基本構想 策定
平成30年12月～令和元年12月	知名町まちづくり町民会議(計12回開催)
令和2年4月	知名町新庁舎基本計画 策定
令和2年4月～7月	知名町新庁舎建築基本設計公募型プロポーザル(提案～審査～選定)
令和2年8月～11月	知名町新庁舎基本設計委託
令和2年12月～令和4年2月	知名町新庁舎実施設計委託
令和2年12月～令和4年3月	知名町新庁舎敷地造成設計業務委託
令和3年1月、6月	知名町新庁舎地質調査委託
令和3年8月	役場新庁舎建設住民説明会
令和4年5月	開発許可書受理(令和5年4月、令和5年6月開発変更許可書受理)
令和4年6月	造成工事及び道路改良工事 契約締結
令和4年9月	建築工事 契約締結
令和5年6月	外構工事 契約締結
令和5年12月	舗装工事 契約締結
令和6年3月	建築工事及び土木工事のすべてが完了
令和6年4月	都市計画法に基づく開発行為に関する工事の完了公告
令和6年5月2日	旧役場庁舎閉庁式
令和6年5月7日	新庁舎開庁及び業務開始

庁舎設計概要

- 用途地域 都市計画区域内 用途地域無指定
- 防火地域 指定なし
- 耐火等 耐火建築物
- 主体構造 鉄筋コンクリート造
- 階数 地上3階
- 主たる仕上げ 外壁:防水形複層塗材E、陶器質タイル張り
屋根:アスファルト防水屋根保護防水密着断熱工法、塗膜防水
- エレベーター マシンルームレスエレベーター1基(11人乗り)
- 駐車場 来庁者30台、車いす利用者2台、公用車26台、
※職員駐車場除く
マイクロバス2台
- 駐輪場 自転車10台、バイク7台
- 省エネ BELS評価(ZEB Ready達成)
- バリアフリー バリアフリー新法:円滑化基準
鹿児島県福祉のまちづくり条例:整備基準

	合計	庁舎	車寄せ	車庫A(北側)	車庫B(西側)	ポンプ室
建築面積	1,981.36㎡	1,553.06㎡	63.02㎡	193.09㎡	167.19㎡	5.00㎡
延べ面積	3,187.04㎡	2,821.76㎡		193.09㎡	167.19㎡	5.00㎡
床面積(3F)	138.40㎡	138.40㎡				
床面積(2F)	1,334.12㎡	1,334.12㎡				
床面積(1F)	1,714.52㎡	1,349.24㎡		193.09㎡	167.19㎡	5.00㎡

- 建築設備 給排水(受水槽9.0m³)、空調(冷暖房・換気)、電気、非常用照明、太陽光発電設備、蓄電池設備、太陽熱温水器(200L)、軟水器
- 消防設備 自動火災報知設備、誘導灯、消火器、屋内消火栓(2か所)
- 防火設備 自動閉鎖防火戸、自動閉鎖防火シャッター、防煙垂れ壁

庁舎建設の主な事業費(平成31年度～令和5年度)

○総事業費 約26.9億円

工事請負費	22.0億円	庁舎建築工事 16.6億円 外構・舗装工事 1.4億円 造成・道路改良工事 4.0億円	委託料 1.3億円	その他移転経費 3.1億円
-------	--------	---	-----------	---------------

※ 委託料は、主に地質調査委託料、基本設計委託料、造成並びに建築実施設計委託料及び監理委託料など。
※ その他移転経費は、電算設備関係並びに防災設備関係の移設費用及び備品購入費など。

用地補償費 0.5億円

○上記総事業費の財源

国費*1	2.0億円	地方債*2	15.4億円	庁舎建設基金	6.0億円	一般財源	3.5億円
------	-------	-------	--------	--------	-------	------	-------

※1 国費は、環境省「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」。 ※2 地方債は、「公共施設等適正管理推進事業債」及び「辺地対策事業債」。